

2015年4月1日

関係各位

株式会社野村資本市場研究所

**野村資本市場研究所、シンガポールに拠点を新設**

株式会社野村資本市場研究所(取締役社長:岩崎 俊博)は本日、シンガポールに研究拠点(以下「新拠点」)を新設すると発表しました。

新拠点は、ASEANを中心とするアジア各国の金融・資本市場の制度・動向に関する情報収集とタイムリーな情報発信を通じて、野村グループのアジア拠点のビジネスを支援します。また、野村グループにとって重要な市場であるインドや中東(イスラム圏)についても、地理的利便性を生かして調査・分析を行い、積極的に情報を発信していきます。

野村グループが「アジアに立脚したグローバル金融サービス・グループ」としての地位を確立するために、各国金融・資本市場の制度や動向等に関する綿密な調査・分析に基づく競争力強化が、ますます重要性を増しています。当研究所は、2006年10月に北京に駐在員事務所を設置し、現地での情報収集・発信を通じて、野村グループの中国ビジネスの展開に大きく貢献してきました。アジアにおけるビジネスのさらなる拡大につなげるため、当研究所は今後も、アジアにおけるプラットフォームを強化・拡充していきます。

以上

## 株式会社野村資本市場研究所について

野村資本市場研究所は、野村総合研究所で1965年以来行われてきた金融・資本市場および金融機関の制度・構造・動向等に関する調査の伝統を引き継ぎつつ、実務に根ざした研究および政策提言を中立的かつ専門的に行うことを経営の基本方針に掲げた株式会社として、2004年4月1日に発足しました。

今日、わが国経済の発展のためには、市場メカニズムを活用したマネーフロー構造の確立が喫緊の課題であるという認識が急速に高まっています。新拠点では、こうした市場型金融の確立に向けた金融システム改革や証券市場改革に寄与する調査研究を行うことを第一の柱としています。

当研究所では、同時に、わが国のみならず、欧米先進諸国の市場経済が直面する、グローバルかつ先端的な課題の調査研究に尽力しています。

さらに中国や新興国経済における金融・資本市場の適切な運営のあり方を、ファンダメンタルズ分析や日米欧市場の経験に関する比較研究を踏まえつつ考察していくことも、当研究所の重要な使命です。

以上のような当研究所の調査研究活動の成果の一端は、季刊誌「野村資本市場クォーターリー」およびウェブサイト(日本語、英語、中文)などを通じて広く世界に発信されています。